

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	270301534		
法人名	株式会社 河原木電業		
事業所名	グループホーム智水寮		
所在地 (電話番号)	〒031-0801 青森県八戸市江陽2丁目18番8号 (電話) 0178-22-0011		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 10月 8日	評価確定日	平成 20年 12月 1日

## 【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 7人, 非常勤 3人, 常勤換算	6.5人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	12,000 ~ 冬期18,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.5 歳	最低 73 歳	最高 96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	シルバーリハビリテーション協会 シルバー病院、近藤歯科医院、なかざわ整形外科、むらかみ脳神経外科、きむらクリニック、はちのへ99クリニック
---------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所の近くには工場や大型のデパートや商店があり、活動しやすい環境にある。アニマルセラピーを取り入れており、入居者・スタッフの気持ちの癒しにつながっている他、対人関係作りにも生かされている。今回、事業所の一部をリフォームし入居者にとって活動しやすい空間作りが行われている。
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回、要改善点は特になし。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価を全職員で取り組むと共に、自己評価・外部評価の結果をもとに改善計画書を作成し、改善点の考案、検討を行ってサービスの向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議では、利用者やサービスの実際、評価結果や評価への取り組み状況等を報告している。また、家族及び委員の意見や地域情報を取り入れた取り組みが出来るように努めている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11) ホーム便り郵送や面会時、電話連絡等随時近況報告を行い、日頃より意見、要望、苦情の出しやすい環境に努め、苦情伺い書を作成し出された用件は話し合いサービスに反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に入り、総会に参加している他、納涼祭や保育園との交流や地域活動を通し、民生委員や地域の人達との交流を行っている。見学は自由に受け入れている他、相談にも応じている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全体で確認し、事業所独自の理念を作り上げている。また、現状や変化に合わせ理念の見直しを行っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日、朝礼で理念の唱和を行い、職員全体で共有を図っている。理念についての勉強会を行い、具体的な意見の統一に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会に入り、総会に参加している他、納涼祭や保育園との交流や地域活動を通し、民生委員や地域の人達との交流を行っている。見学は自由に受け入れている他、相談にも応じている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価を全職員で取り組むと共に、自己評価・外部評価の結果をもとに改善計画書を作成し、改善点の考案、検討を行って、サービス向上に努めている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では、利用者やサービスの実際、評価結果や評価への取り組み状況等を報告している。また、家族及び委員の意見や地域情報を取り入れた取り組みが出来るように努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>積極的に、実情を伝え、事業所の運営やサービスの課題解決に向けて協議している。また、地区の協議会等にも協力してもらい、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会に参加し、学ぶ機会を持ち、機会ある事に職員へ説明を行っている。対応が必要と思われる利用者には支援できる体制が整っている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会に参加し、勉強会やミーティングでスタッフへ伝達しており周知を図っている。また、職員間でも意識し防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際には具体的に、事業所のケアに関する考えや取り組み、退居を含めた対応可能な範囲等明確に説明を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康状態や暮らしぶり、金銭管理等について、毎月ホーム便りとして郵送し報告している。その他、面会時や電話連絡にて伝えている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃より、意見、要望、苦情を出しやすい環境に努めている。また苦情伺い書を作成し、出された用件は話し合い、サービスに反映されていく取り組みが行われている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はなく、馴染みの職員の支援が受けられるよう配慮している。離職の場合は、引継ぎに充分時間を費やし、利用者へのダメージを防ぐよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修へは、多くの職員が参加出来るように計画を立て参加している。また、勉強会等では伝達研修を行い職員間の共有が図れるようにしている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流会(納涼祭や合同忘年会等)を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互の訪問等の活動の交流を持つことにより、サービスの質の向上を目指している。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学や事前面談を通し、徐々に関係を深めるようにしている。生活空間についても、使い慣れた物や馴染みのある品を持ってきて頂き、安心して生活出来るよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の思いや苦しみ、不安や喜びなどを知ることに努め、暮らしの中で分かち合い共に支えあえる関係作りを築けるよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のかかわりの中で、利用者一人ひとりの生活リズムを理解するとともに、希望や意向の把握に努めている。困難な場合は家族から情報を得て本人本位に近づこう検討している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が自分らしく暮らせるように本人や家族の意向や要望を聴き、関係者の意見も含めて課題となる事をスタッフで話し合い、介護計画の作成やプラン変更を活かしている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間終了後は評価し見直しを行っている。また、利用者の状態変化時は終了する前でも随時見直しを行いその都度対応している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援に柔軟に対応し、個々の買い物や散歩等の希望に対しても支援し、満足を高めるよう努力している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他、利用前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう、家族と協力し通院介助を行ったり、訪問診療も受け入れており複数の医療機関と関係を密にしている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事前に事業所で対応できる最大のケアについて説明し、状況の変化の度に家族の気持ちや本人の思いを確認しながらかかりつけ医と相談しながら支援につなげている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会を行い職員の意識向上を図るとともに、日々のかかわり方に関しても利用者の意思を尊重した対応をし、利用者の尊厳、個人情報の保護に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは持っているが、スケジュールを組まず一人ひとりの状態や本人の気持ちを尊重し、個別性を持った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>一人ひとりの好みや状態に配慮された献立であり、可能な限り調理、盛り付け、片付け等を利用者と一緒にしている。また、職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事できる雰囲気作りも大切にしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>一人ひとりの入浴したい日や時間、タイミングに合わせて支援している。また、毎日入浴したい利用者にも対応し、体調や本人の意向をみながら清拭やシャワー浴等も含め気持ちよく入浴出来るよう支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個々の生活の中で、散歩やペットの世話等の本人が意欲的に活動できるように努め、潜在している記憶や出来る力を最大限活かして喜びが持てるような配慮がなされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>本人の気分や体調にも合わせ、ドライブや散歩、買い物等日常的に行われている。また、行事も多くよく戸外に出掛けられるよう支援している。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会に参加し、勉強会を行い知識を深め職員の共有意識を深めている。また、ケアを振り返り拘束のないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	安全面に配慮しながら、鍵を掛けずオープンなケアに取り組んでいる。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を定期的に利用者とともに行って身につくよう努めている。また、地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を把握し、必要に応じ補食や間食を勧めている。また、栄養士のアドバイスをもらうなど栄養バランスに配慮している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	研修会へ参加し、感染予防マニュアルの作成・確認を行い、勉強会を行うことで職員全員が知識を深め予防、対策に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間が不快にならないよう配慮し、生活感や季節感を取り入れるよう工夫している。また、本人の好みの場所が確保され、一人ひとりが居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の使い慣れた家具や好みのを自由に置くことが出来、心地よく過ごせる環境作りへの配慮がされている。</p>		

 は、重点項目。